

はじめまして



婦人科

おた よしあき
太田 啓明先生

はじめまして、いつも倉敷平成病院の皆様には家内がお世話になっています。土曜日に婦人科の助っ人をしている太田啓明です。普段は倉敷成人病センターで腹腔鏡手術などの婦人科手術をしています。いつもご紹介を賜り、本当にありがとうございます。

皆さんの通勤道に我が家はありますので、夏は芝の水まきでご迷惑をおかけしているかもしれません。この場を借りて、陳謝させて下さい。夏の暑い中、ご多忙の皆様方の朝の通勤の最中にほんの少し、水しぶきとマ

イナスイオンを我が家から感じて頂けたら…とっております。たまにちらりと平成病院の職員さんの視線を柵越しに感じつつ、芝の手入れをしている時間が、自分の至福の時間です。芝は手入れが楽だと思って敷いたのですが、思いのほか手入れが大変で、奥が深い趣味でした。アマゾンで芝の世話の本を数冊購入し、トイレで読み始めたのがそもそもの始まりでした。今では自称『人様の庭の芝評論家』を自負しております。芝刈りの道具も、当初はコーナンで購入した一般的な芝刈り機でしたが、今年は念願の『芝刈り界のフェラーリ』、赤いボディが美しい芝刈り機の購入が叶いました。どちらかという自分、『形から入る』タイプであるという新しい自分の一面を見つめられたのも、この『芝刈り界のフェラーリ』のおかげです。『道具にこだわる』芝職人として、来年あたり、またこっそり新兵器を購入予定です。

それから芝には雑草がつきものです。我が家の芝も雑草と日々格闘しております。特にクローバーは腸内における悪玉菌と言っても過言ではありませ

ん。最初は『芝刈り界のペントシリン』レベルの除草剤から始めましたが、今年は『芝刈り界のバンコマイシン』であろう除草剤を入手しました。ただ、どんなに良い除草剤を使っても、最後は丁寧に雑草を抜くというお手入れが大事であると感じております。我が家の芝に雑草が茫々と生えている時は、私の心も体も荒れていると察して頂けると幸いです。

最後に、芝は刈るだけではありません。目土という土を、毎年大量に撒く必要があります。何十キロという目土を買ってきて、毎年撒きます。芝の手入れはまさに人材の育成と同じで、伸びたら、切って、その足場である土や肥料を常に補い、足場を固めてあげる必要があります。やや強引な終わり方になりましたが、こんなことをたまにお心にとめて、我が家の芝をチラリとご一瞥頂^{いちべつ}きながら、通勤をして頂けると幸いです。

これからも宜しくお願い申し上げます。

太田啓明先生は毎週土曜日午前
婦人科外来を担当されています。

Doctor's Eyes